

トルコのモザイクランプ



新宿にあるトルコ文化センターで、トルコのモザイクアートワークショップに参加してみた。色とりどりのモザイクガラス、ビーズがちりばめられた美しいランプを、どこかで見かけたことのある方、トルコ旅行のお土産に購入された方もいるのではないだろうか。

トルコのモザイクランプは、オスマン帝国時代のモスクランプと、キリストのモザイク画が融合したもので、2000年代からお土産物として人気が出たらしい。

今回は、コースター制作にチャレンジしてみた。色とりどりのモザイクガラスから、好きな色のガラスを選び、並べていく。トルコのお茶であるチャイをいただきながら作業に没頭すること1時間半、2枚のコースターができ上がった。お子さんの夏休みの宿題にもお薦めできる(8歳以上から参加可能)。



トルコ文化センターでは、このほか、トルコ語、レース編みなどの伝統的な手芸、料理、細密画、伝統楽器などのさまざまなクラスが開講されている。

トルコ文化センター

<https://www.turkeycenter.co.jp/>

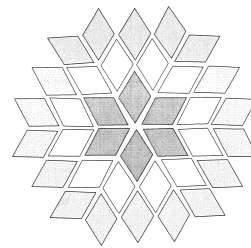
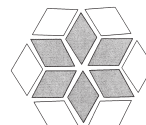
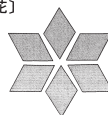
(JOI調査員 猪俣)



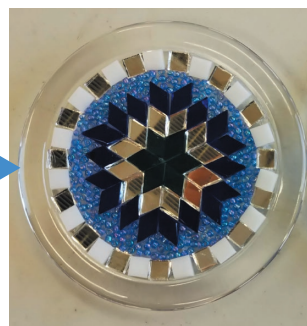
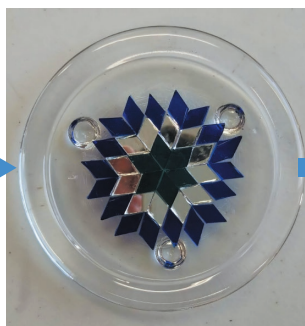
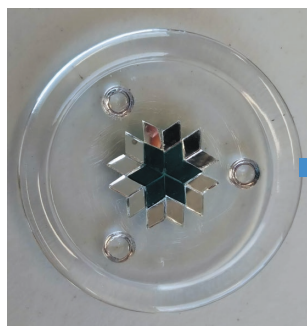
さまざまな色のモザイクガラスから、好みの色を選ぶ。

トルコ モザイクランプの基礎的な模様

【花】



今回はこちらの「花」の模様を元に制作。ほかにも、星形、菱形の基礎的な模様や、自分が好きな模様で作ることもできる。



土台となるガラスのコースターに接着剤をぬり、中央から順にモザイクガラス、ビーズを敷き詰めていく。この後、強度を増し、ガラスやビーズの欠損を防ぐための石膏を入れて完成となる。